

奥武蔵名栗 有間川&逆川ボルダー

2016.3.24 rctK

平成31年3月現在、B岩は台風の氾濫の影響と思われるが、岩が川側に45度ほど傾いており、以前の課題が消滅してしまっている。今後時間のある時に再度掃除をしてトライする予定である。

有間ダムより上流域の有間川および逆川には幾つかのボルダーが点在している。これらのボルダーは最近行っていないので状況は不明だが、多分行けば何とか登れると思われる。しかし有間川ボルダー(B岩)については、川沿いで下地が荒れている可能性がある。もし行く場合はマット持参が良い。

岩質はチャート。谷の底なので雨後は乾きが悪く苔が発達し、ほとんどのボルダーは自然に還っていると思われる。

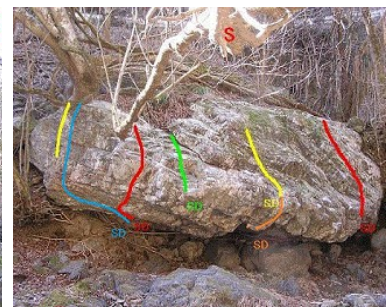
アクセスは車利用が基本。有間ダムからさらに奥に林道を進むと、有間溪谷観光釣場に着く。林道は左に「有馬線(なぜか間が馬になっている)」、右に「広河原逆川線」が分かれる。両林道は舗装がされているが、落石等があるので注意が必要。広河原逆川線は釣場の先で通行止めの表示がある。車止めを動かしてその先まで入ることは可能だが、秩父浦山川側には抜けられない。

アプローチについては、有間川ボルダーに関しては林道から見えるので比較的分かりやすいが、逆川ボルダーに関しては車を降りて確認しないと見つからないボルダーもある。



●有間川ボルダー B 岩(左) & 逆川ボルダー S 岩(右)

有間川ボルダー B 岩は少し大きめの岩で、林道下にあるので分かりやすい。岩の周囲に課題があるが、上流側のフェイスの中央部はマットを利用すれば思い切ってトライできるので登れるのではないかと。増水すると直ぐ下が荒れてしまうので幾らか整備が必要と思われる。



なお、このボルダーはその後、台風の土石流の影響で川側に傾き、課題は消失した。新たに設定された課題(別ページ)もその後台風の影響を受けている。

逆川ボルダー S 岩は対岸に山の形をした Q 岩が見えたら、その先の堰堤までの間の谷底にある。大きな樫の根っ子に包まれたような岩で林道からは見えない。高さはあまりない岩だが、下がハングしており SD 課題などで何本か楽しめる。(現状不明)